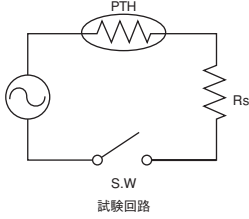


No.	項目	規格	試験方法						
1	抵抗値	定格値を満足します。	攪拌シリコンオイル中において、1.5Vdc以下（測定電流10 mA以下）の直流端子電圧を用いて測定する。						
2	耐電圧	異常ありません。	周囲温度25℃において、ポジスタ®の端子間に、0Vより徐々に印加電圧を上昇させ、最大電圧の120%の交流電圧を180±5秒間印加する。（ただし、直列に保護抵抗を接続し、ポジスタ®に流れる突入電流を最大電流以下に制限すること。）						
3	端子引っ張り強度	リード線は損傷なく耐えます。	ポジスタ®本体を固定し、各端子の軸方向に9.80Nになるまで荷重を徐々に加え10秒間保持する。						
4	端子曲げ強度	端子は切断しません。	リード線の引き出し軸が、垂直になるように下表に規定する値の荷重を釣り下げ、90度曲げ元に戻し、さらに逆方向に90度曲げ、再び元に戻す。以上の操作を1回徐々にを行う。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>荷重</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PTFL</td> <td>2.45N</td> </tr> <tr> <td>PTFM</td> <td>4.90N</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	荷重	PTFL	2.45N	PTFM	4.90N
シリーズ	荷重								
PTFL	2.45N								
PTFM	4.90N								
5	はんだ付け性	リード線の円周方向3/4以上で、軸方向に浸したところまで切れ目なくはんだが付着しています。	リード線をロジン (JIS K 5902) のイソプロピルアルコール (JIS K 8839) または、エタノール (JIS K 8101) 溶液 (約25wt%) に5~10秒浸漬し、次に本体の根元から2.0~2.5 mmのところまで、235±5℃のはんだ (JIS Z 3282 H60A) 溶液中に2±0.5秒間浸す。						
6	はんだ耐熱性	抵抗変化率 試験前の値に対し ±15%以内 表示が読めること	リード線を本体の根元から2.0~2.5mmのところまで、350±10℃のはんだ (JIS Z 3282 H60A) 溶液中に3.5±0.5秒間浸せきする。そして、室温(25℃)に24±4時間放置後、抵抗値を測定する。						
7	耐湿試験	抵抗変化率 試験前の値に対し ±20%以内 表示が読めること	温度40±2℃、湿度90~95%の恒温 恒湿槽中に入れ、500±4時間放置したのち、大気中に取り出し乾布で軽くぬぐい、室温(25℃)に1時間放置し、抵抗を測定する。						
8	高温負荷	抵抗変化率 試験前の値に対し ±20%以内 表示が読めること 	温度85±3℃の恒温槽中において、最大電圧を1.5時間加え0.5時間休止するサイクルを1000±10時間繰り返した後、室温(25℃)に1時間放置し、抵抗を測定する。（ただし、直列に保護抵抗を接続し、ポジスタ®に流れる突入電流を最大電流以下に制限すること。）						